



←学校HPにアクセスすれば、カラー版が見られます。

横原小学校 学校だより

# まきはら

2024年度 No.3

令和6年6月 28 日発行

令和6年7月 3 日回覧

柏崎市春日三丁目4番31号

TEL 0257-22-4090

## いじめ見逃しゼロ 県民運動

深めよう 絆 にいがた県民会議

仲間外しをされたことはありますか。回数や形態は様々ですが、疎外感を感じた事くらいなら、誰にでも経験のあることと思います。そんな時は、本当に暗い気持ちになりますね。たとえ、すぐに仲直りしても、心の傷は思いのほか深いこともあったのではないのでしょうか。いじめは子ども達の心に深い傷を残します。他の人からは分からない深い傷です。大人や友達から見たら「え、その程度のことです」と思うことでも深く傷つく子もいるのです。



全校SST 心を耕す活動です

いじめはいじめられた子の主観が100%です。そんなつもりがなくても、その子がつらいと感じたらいじめなのです。だから、学校では子ども達に「友達が嫌がることをしない」という指導をしています。そのためには「相手を大切に思う心」が必要です。相手を大切に思う気持ちの対極にあるのが、相手を見下したり、馬鹿にしたりする気持ちだと思います。自分を馬鹿にしている人の言動は、どんなに言葉が丁寧でも嫌な気持ちが伝わるものです。これが、争いの元になります。

さて、学校では『いじめ見逃しゼロ県民運動』を推進しています。『いじめゼロ』ではなく『いじめ見逃しゼロ』なのは、新潟県

が「いじめはある」を前提にしているからです。「いじめはない」という認識でいると、いじめの発見が遅くなり、その結果、対応が遅れてしまうからです。とはいえ、槇原小学校では、まず、いじめの未然防止を目指します。心を育て、『お互いに相手を大切に思うこと』でいじめの未然防止に努めてまいります。

# 引き渡し訓練

6月27日

津波想定 of 引渡訓練を実施しました。保護者の皆様からはお仕事の時間にもかかわらず、御協力いただき感謝申し上げます。日本は地震が多い国として知られています。記録を振り返っても、大きな地震がある程度定期的に発生してきました。地震の揺れから身を守り、津波を警戒し自分の命を守ることは日本に住んでいる以上必要な事だと言えます。

さて、今回の訓練は地震の後、津波警報（訓練の設定）に伴い、児童を校舎3階に避難させ、津波警報解除後に保護者に児童を引き渡す場面の訓練でした。有事の際は落ち着いているようで、平時よりも慌てているものです。自家用車を校地に乗り入れる際の一方通行や、引渡後の所在地確認などは、少し落ち着きを取り戻す効果もあったと思います。

さて、大人は子ども達の命を守る役割を担いますが、最後の最後に子どもの命を守るのは、子ども自身です。子ども達に学年相応の身を守るための、知識

と技術を身につけさせていきたい  
と思います。

## 【7月の主な予定】

1日（月）	全校朝会
2日（火）	七夕集会
5日（金）	フリー参観日 学年懇談会 学校保健委員会
11日（木）～	修学旅行（6学年）
12日（金）	
23日（火）	夏期休業日前の集会
24日（水）	夏期休業 8月25日まで
24日（水）午後	個別面談
25日（木）	//
29日（月）	//
30日（火）	//

「津波の前に潮が引く」これは、有名な話で、地震の後に海底が見えるほど潮が引いたという話はよく聞きます。では、潮が引かないと津波は来ないのでしょうか。実は引き潮が確認できないのに津波に襲われた町があります。

宮城県大槌町では2011年3月11日の東日本大震災の時、引き潮が確認できなかったのも、多くの人が高台から降り、津波にのまれました。

地盤沈下と湾の地形などから引き潮が確認できなかったのではないかと専門家は分析しています。潮が引くことと津波が来ないことは必ずしも一致しないことも覚えておきたいですね。

